

『自分のビジョンを起点に授業をデザインしてみよう！』

みなさま、サタラボ10周年を一緒に祝ってくださりありがとうございました。今後もどうぞよろしくお願いいたします。

サタラボに参加してくださる方々は日本語教師を中心に様々な形で日本語教育に関わっています。日本語教師という職業ひとつとっても、所属する組織や取引先、出版社の編集の方々、同僚や学習者など、さまざまな関係者と折り合いをつけながら、仕事をする人が多いのではないのでしょうか。日本語教師としてのキャリアを築いていく中で、日本語教育の知見を提供しながら、関係者間で調整していくことも日本語教師の専門性だと思っています。調整して先に進み、よりよい授業を提供していこうとする中では、日本語教育の専門的な知見だけでなく、立ち止まり、自分がどんなビジョンを持って日本語教育を行っているのか意識することも大切なことではないのでしょうか。また、日々の仕事をする中で壁にぶつかったとき、常識を疑い、クリティカル思考で考え直してみることも欠かせないのではないかと思います。

今回のサタラボでは、『Can-do で教える 課題遂行型の日本語教育』(三修社)をクリティカルに読み解いてみたいと思います。そして、同書の「課題遂行型日本語教育」では、何を狙っているのか、どんなビジョンを元にコースデザインがされているのか考えてみます。その上で、自分の考えと比較し、違いを意識しながら、自分の描いているビジョンをもとに、「課題遂行型」の授業をデザインすることを目指します。講師は、プロジェクト型学習(Project Based Learning:以下 PBL)を基にコースデザインしている平澤栄子さんをお願いしました。平澤さんが発信している note (https://note.com/e_hirasawa)や『日本語教育いどばた』(移転作業中)でご存じの方も多いでしょう。お時間がありましたら、是非覗いてみてください。

7月6日(土)に『日本語教育の未来を創る:PBL から学習環境デザインのあり方を探る』というテーマでハイブリッド・セミナーを開催するそうです。(詳細・申し込み)は平澤さんの note をご覧ください。

【講師・平澤栄子さんからのことば】 私は、ここ数年、「Project-Based Learning」に基づいた授業にチャレンジし、テキストを使わず、自分で考えてコースデザインをするという経験をしました。その経験から自身のビジョンを持って日本語教育に関わることの大切さを痛感しました。とは言っても、日本語教育の現場は、制度や組織などからさまざまな制約を受けています。そのような制約とどう折り合って、自分のビジョンを活かしていけばいいのか、みなさんと一緒に考えてみたいです。

日時: 2024年8月3日(土) 9:30-12:30 開場 9:15 懇親会:12:30-14:00(希望者のみ参加)

会場: Glocal Point Aoyama <https://glocalcafe.jp/aoyama/#access>

東京都港区北青山 2-10-29 日昭第2ビル 1階(メトロ銀座線 外苑前駅 歩5分)

対象者:日本語教師&日本語教育関係者(定員:先着40名)

参加費:4,000円(振込先はメール申し込み返信の形でお知らせいたします)

懇親会費:1,000円程度(希望者のみ会場にて現金払い)

申込: <https://forms.gle/iG2Cp4S3ugyQ6Q9w7>

お申し込み後、振込先をお知らせいたします。振込が完了後、正式にお申込み受付となり、キャンセル時は返金できません

主催:サタラボ 代表:小山暁子

お問合せ先: stalabo1@gmail.com 事務局:伊藤麻友子・森谷智美・渡辺倫弥